

腹腔鏡下直腸切除術を受けられる患者さんへ

患者氏名： _____

主治医： _____

担当看護師： _____

項目	月日 入院：手術3～2日前	手術前日	手術当日	手術後1日目～3日目	手術後4日目～7日目	退院：手術後10日目（入院14日目）
達成目標	・経過について理解し手術の準備ができる		・痛みによる苦痛がない		・吐き気がない ・便が出る ・歩行することができる	・退院指導内容を理解できる ・おならが出る
治療・薬剤 (点滴・薬剤) ・処置 ・リハビリ	 ・持参された薬の確認を薬剤師が行います	・日中と寝る前に下剤を飲みます ・点滴を行います 	・手術前に手術衣に更衣し、弾性ストッキングを履きます ・手術が2番目以降の方は朝から点滴をします ・手術から帰って来たら心電図、フットポンプを装着します ・痛みがある時は痛み止めの点滴をします ・我慢せずお知らせください ・傷口に管（ドレーン）が入ります 	 ・創部の観察を行います ・傷口の確認を行い、必要に応じて消毒・ガーゼ交換を行います ・状態にあわせて歩行練習を開始します ・離床ができればフットポンプをはずします 		
検査	・身長、体重測定 ・採血 	・採血 	(手術直後) ・採血 ・レントゲン 	・採血 ・レントゲン	・採血、レントゲンなどの検査を行う時はお知らせします	
活動・安静度	・制限はありません		(手術後) ・ベッド上安静です (体の向きは変えられますが、看護師がお手伝いします)	・安静制限がなくなります (初めての歩行時は看護師が付き添います) ・状態に合わせて活動範囲を広げていきます	・制限はありません 	【退院後の生活について】 (活動について) ・開腹の手術をされた方は、ヘルニア予防のため腹帯は手術後3か月は巻きましょう ・深くしゃがみ込む動作は傷に負担がかかるので避けましょう (食事について) ・食事は消化に良いものを摂取し、熱すぎるもの、冷たすぎるもの、香辛料が多く刺激の強いものは控えましょう ・ヨーグルトなどの乳酸菌、食物繊維の多いものを摂りましょう (排泄について) ・排便回数、便の形状の観察を行いましょう ・手術によっては排便調節が難しく下痢や便秘になります ・便秘予防として、水分を1～1.5L/日を少しずつ摂りください ・手術によっては便を我慢できなくなることがあります ※早めにトイレに行くように心掛け、リハビリパンツ等のオムツを使用しましょう (入浴について) ・医師の許可でシャワー浴ができます ・傷を洗う時は石鹸をしっかりと泡立てて、こすらずにできるように洗い、シャワーで流した後はおさえ拭きをしましょう
食事	・制限はありません	・朝から絶食ですが飲水はできます 	(手術前) ・麻酔科医が指示した時間以降は飲んだり、食べたりが出来ません (手術後) ・飲んだり、食べたりが出来ません 	・食事はできません ・医師の指示で水分摂取から始まり、次にGF0という飲み物が始まります	・医師の指示で食事を開始します 	
清潔	・制限はありません 	・へその掃除を行います ・除毛後にシャワーを行います	(手術前) ・肺炎予防のため歯磨きをしてください (手術後) ・医師の許可があればうがいできます	・肺炎予防のために歯磨きは必ず行ってください ・体拭きをします ・洗髪をします ・傷の管が抜けた後に、医師の許可があればシャワー浴ができます 		
排泄	・制限はありません		・手術中に尿の管が入ります ・手術後に便秘がある時はナースコールでお知らせください 	・歩行ができれば尿の管を抜きます	・制限はありません	
患者様及びご家族への説明 栄養指導 服薬指導	・主治医より手術についての説明があります ・肺血栓症予防について説明をします ・麻酔科医より手術までに説明があります ・手術室の看護師から説明があります ・手術・麻酔・輸血の同意書を確認します ・手術に必要な物品を揃えます ・マニキュアを落とし爪を切ってください ・手術当日は必ず化粧を落としてください ・手術入室時間・手術時間・家族の来院する時間について説明します 		ご家族様へ ・手術中は3階デイルームで待機してください ・場所を移動される時は必ずスタッフへお声かけください ・貴重品はご家族で管理してください 手術後 ・排ガス、排便の有無、便の性状の観察について説明します			

※この経過表は入院から退院までのおおよその経過をお知らせするものです諸所の理由で経過通りに行かない場合もありますことをご了承ください